

志賀原子力発電所 低レベル放射性廃棄物 搬出検査装置放射能計算機プログラムの不具合について

平成29年8月7日
北陸電力株式会社

8月4日、志賀原子力発電所で使用している低レベル放射性廃棄物の放射能計算機におけるプログラムの一部不具合により、極まれな頻度で低レベル放射性廃棄物ドラム缶の放射エネルギーを正確に測定・記録できない可能性があることが判明しました。

現時点でデータの確認ができていないドラム缶について当社が放射エネルギーを保守的に試算した結果、埋設基準^{*}を満足することを確認しましたので、お知らせします。

当社は、これまで3,840本の低レベル放射性廃棄物ドラム缶を日本原燃(株)六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター（以下、「埋設センター」という）へ輸送し、埋設処分しています。低レベル放射性廃棄物ドラム缶は埋設センターに輸送する前に、ドラム缶1本毎に測定装置により自動測定・記録を行い、放射エネルギーを確認しています。

8月4日、測定装置メーカーより、測定したデータのうち、一部のデータが正しく記録されない事象が極まれに発生する可能性があるとの連絡を受けました。

これを受けて当社が保有するデータを調査した結果、3,836本については、適切に放射エネルギーが測定されていることを確認しました。

現時点でデータの確認ができていない4本については、ドラム缶の表面線量率から放射エネルギーを保守的に試算した結果、埋設基準を満足することを確認しました。

なお、本事象は、法令や安全協定等に基づく事象ではありません。

以上

※埋設基準

日本原燃の埋設事業変更許可申請における低レベル放射性廃棄物ドラム缶の最大放射能濃度